



大井町立相和小学校

学校通信

発行日

令和2年5月11日

発行者

中山 喜幸

そうわ通信

5月号

臨時休校期間の延長 ～家庭の教育力で子どもの自律を～

「生活習慣の乱れ」を自分で正す！相和っ子

度重なる臨時休校延長の対応に、どの教職員も落胆の表情を隠せません。学校は、子どもたちが集ってきこそ学校だと、当たり前のことを職員一同が、今あらためて痛感しています。

4月当初、新年度の子どもたちとの出会いを大切にしようと教室環境等の準備をしました。また、すぐに再開される臨時休校にむけた学習・生活の指導の準備もしました。しかし、子どもたちが教室にいる時間は、午前日課のたった二日間です。時間が貴重なものであることも、痛感しました。

これだけ長く続く臨時休校によって、何よりも心配なことは、子どもたちの「健康」です。そして、それを支える「生活習慣」です。養護教諭も、子どもたちの生活習慣が乱れていないか心配し、何かできることはないかと考えています。子どもたちへの思いを込めて「保健だより」を作成しています。養護教諭から全相和っ子へ、「生活習慣を乱さず、ウイルスに負けないで！」というねがいを込めたプレゼントを考えているようです。楽しみにしていてください。

子どもたちには、臨時休校中であっても、学校のあるときと同じように、生活リズムを崩さず規則正しい生活を続けてほしいと思います。そのために、学校で何ができるかと模索しています。しかし、子どもたちが、この緊急事態宣言下で、また、今後の学校再開にむけて、どう過ごすべきかを切実に考え、行動できるようにするには、各家庭の教育力に増すものはないと思います。よろしくお願いします。また、各家庭におかれまして、何か相談事等がありましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。



手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から
帰った時



咳やくしゃみ、
鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後！

病気の人の
ケアをした時



外にあるものに
触った時



「新型コロナウイルス感染症の予防」（文部科学省）から

子どもたちの「学び」を止めないために

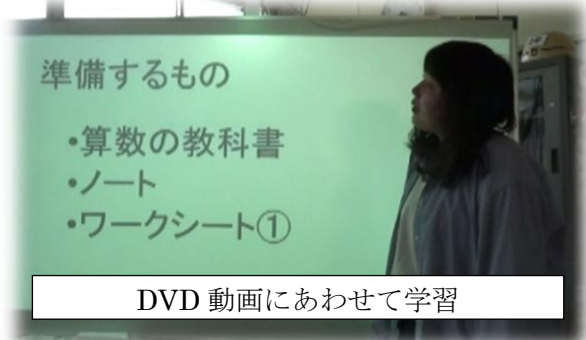
担任手作りのDVD動画の活用を

教室で、子どもたちと担任は、今年度に入って（1年生にとっては入学して）、まだ2日しか会っていません。各担任は、子どもたちがプリント学習を進めていくことへの抵抗・難しさを心配しています。

特に1年生にとっては、プリントの文字を読んで回答するという学習は、小学校入門期には難しいことです。1年生にとっては、座る姿勢・鉛筆の持ち方等が学習内容で、それをプリントで行うことはできません。オンラインでの授業も考えられますが、今のところ全ての子どもたちがそれを活用できるというわけにはいきません。しかし、DVD動画であれば、どの子どもも視聴できることがわかりました。



学習の前に、鉛筆の持ち方を確認



DVD 動画にあわせて学習

そこで、DVD動画を活用しての学習ができないかと考えました。画面から担任の先生が子どもたちに話しかける（一方向でのコミュニケーションですが）、それに応えてプリント学習に取り組めるように課題を工夫しています。DVD作成や児童数分を複製する作業には時間がかかりますが、そこは少人数の学校であるからこそできる取り組みです。

何度でも、繰り返して視聴できます。しかし、子どもたちが疑問・わからないところがあるようでしたら、保護者の方から「学校に電話して相談してみたら」と、アドバイスしていただけると助かります。

友達・なかまとの「関わり」を止めないために

学級通信で、友達の努力を紹介

先生たちは、目の前の子どもたちの努力や学びに、賞賛・労い・励まし等の言葉をかけたいと思っています。それが仕事であり、そうした子どもたちとの関わりが喜びでもあるからです。

子どもたちが学習した様子は、ノートやプリントを見れば感じられます。その努力にコメントとして担任の思いを書き込めるように、課題の配付とともに、回収も行っています。

そして、それぞれの努力の「あしあと」を学級通信で紹介しています。「友達もこのようにがんばっているよ」と各家庭での子どもたちの努力が学級通信の中で交流できるようにしてあります。是非、お子さんと学級通信をお読みください。

